

(様式3)

事業所名 グループホームいこいの里

## 目標達成計画

作成日： 令和 4年 8月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策 災害発生時の具体的な対応に関する取り決めが不十分である。	BCPの策定 災害発生時、緊急時の対応方法と事業を継続するための、又継続不可能な場合でも早期復旧するための対策マニュアル(BCP)を策定する。	災害発生時の対応、対策を文面にまとめてマニュアルを作成する。(現在の緊急時対応マニュアルを更新し、足りない部分を検討追加する)	12ヶ月
2	35	災害対策 災害発生時に利用者が避難する具体的な手順と方法を職員間で十分に周知されていない。	災害発生時の対応を職員全員が理解すると共に、いつ災害が起きても対応できるよう身につける。	年間1回以上の災害対策マニュアルを使用した勉強会、避難訓練を行う。	12ヶ月
3	20	コロナ禍での馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めているが、コロナ禍においてそれらの関係と入居者が疎遠になりがちである。	コロナ禍においても、これまでの馴染みの人や場所との関係が保たれ、途切れないように支援を継続していく。	感染症対策として面会や外出の制限を行っている。これは入居者の感染を防ぐ上で重要であるが、感染対策を十分にいき、安全を確保したうえで、webを使った面会や地域行事などへの参加を、臨機応変に考えて対応していきたい。	3ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。  
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。